

もう止めよう 女性泊まり合い

今後も続ける／町長



みやち ようこ 議員 宮地 葉子

かく忘れられつつある差別意識を掘り起こし、蒸し返しす

るが、そこそが逆に部落差別の解決を遅らしている。

また「人権集会」と名前を付けて、いかにも人権そのものを研修しているかのようだが、以前から「同和」を「人権」の隠れミノにして同和問題を残すやり方が全国的に使

問

県内の市町村では黒潮町以外はどこも止めてしまった「女性泊まり合い研修」だが、この研修が始まった38年前頃と比べると、部落差別は比べものにならない程解消されている。町の意識調査（平成18年実施）でも「差別は徐々に解消されている」と答えた人は48%と最も高い。

徐々に薄れつつある部落差別の現実を、行政はなぜか直視せず、いつまでも「差別がある、差別がある」と、せつ

一番基本のルール」（「人権教育啓発センター」発行のパンフより）であり、決して同和問題を中心に据えるべきものでもなく、公務員は特に人権について正しい知識を持たなければいけない。

お金をかけて人権研修を行うのなら、同和問題を主にした人権研修ではなく、本来の人権の持つ深い意味の研修を行うべきだと思っし、役場の職員なら世界人権宣言の第1条ぐらい全員が知っておくべきではないか。

① 町長は「同和問題をはじめとする」という枕詞が付くことを異常と感じたことは一度もないか。
② この研修に参加した職員、教員等は今でも出張扱いか。日当はいくらか。

③ 大西町長の時代で「女性泊まり合い研修」を止める事を町民は望んでいるが、どうか。

答

大西町長

① 異常と感じたことはない。
② 出張扱いで、日当2千円と宿泊手当9千円が付く。
③ 事業の中止はない。差別がある以上自分も中心になって進める。

携わる人件費が約1千万円も計上された。加入は自由選択であること、加入の強要はしないことを重ねて願います。
この事業は赤字が出れば子どもや孫たちが延々と半永久的に借金を払い続けることになるが、自主放送をしなければ情報格差の解消が不十分なのか。どの様な放送を考えているのか。自主放送をする理由は何か、再度自主放送の中止を求める。

答

大西町長

自主放送をしなくても情報格差の解消は出来るが、住民の生活を豊かにする大事な事業と考えている。

放送内容は町内イベントや学校行事、議会中継、災害対策のライブカメラなどを予定している。重要な住民サービスであり、中止はしない。

問

ケーブルテレビの加入促進が始まった。自主放送がなければ維持管理費が多くかからないので、加入促進にそれ程力を入れなくても済むが、今回の補正予算で、加入促進に

自主放送は中止を
重要な住民サービス／町長

ケーブルテレビ